

日本仏教を変えた

法然の先鋭性

親鸞にとって
の「真宗」

「地獄に落ちても後悔しない」

親鸞が比叡山を捨ててまで求めた、法然の教えとは!?

日本仏教を、「貴族の仏教」から「民衆の仏教」へと

変革させた法然。その求道と布教のあり方をさぐった、

著者渾身の一冊。

ねづ しげる
根津 茂 著

四六判・並製・三四二頁
本体一、三〇〇円＋税

【目次】

はじめに

第一部 法然の求道

- 一、法然の誕生と父の遺言
- 二、大いなる願いと鮮明な課題をもった学び
- 三、最初の説法
- 四、都での布教

第二部 民衆のための仏教

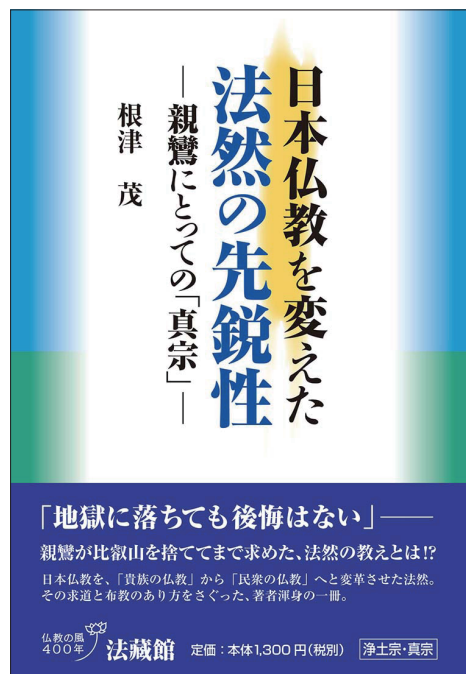
- 一、宗教の本質と法然の平等精神
- 二、阿弥陀仏の本願とは
- 三、重層信仰や神仏習合を否定
- 四、不平等を正当化する宗教行為の否定

第三部 仏教の一大革命

- 一、絶対平等の救いの確立
- 二、悪人正機
- 三、悪人正機への思索
- 四、女性解放への思想
- 五、崇りや霊信仰からの解放
- 六、既存の仏教を全否定する『選択集』

第四部 法難と教義の継承そして親鸞へ

- 一、「興福寺奏状」から見える専修念仏への弾圧
 - 二、流罪の地で法難を思う
 - 三、法然の遺言
 - 四、法然と出合い続けた親鸞
 - 五、法然と親鸞の精神から今の世を見つめる
- 法然と親鸞関連年表
主な参考文献
あとがき



2017年2月刊行

■著者略歴

一九五九年、神戸市に生まれる。一九八二年、甲南大学法学部卒業。以後十二年間にわたって企業に勤務。主として、総務、人事、経理を担当する。この時期、『歎異抄』より親鸞の教えに出会い、浄土真宗の教えを学び始める。一九九四年、東本願寺にて得度。真宗大谷派僧侶（大阪教区南溟寺所属）として現在に至る。一九九六年より甲南高等学校・中学校非常勤講師を兼ねる。著書は、『20世紀世界の「負の遺産」を旅して——戦争の惨禍から見えてきたもの——』（明石書店）、『三悪趣』からの解放——憲法九条・二十条の持つ意味——』（共著・念仏者九条の会編、自照社出版）。

注文書	
(書店印)	様 冊
ご担当	法蔵館 本体一、三〇〇円＋税
日本仏教を変えた 法然の先鋭性 ——親鸞にとつての「真宗」—— ISBN : 978-4-8318-7712-3 C0015	根津 茂 著
お名前	住所
お電話	

ご注文はFAX:075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
<http://www.hozokan.co.jp> info@hozokan.co.jp

浄土宗・真宗